竹の子会の基本目標
1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦

竹の子
http://www.takenokokai.com

竹の子会会報
No.610
竹の子会総務委員会
令和３年３月11日

第66期常任予定者あいさつ

会長予定者
名和　良能

この度、第66期会長予定者にご選任いただきました第58期入会の名和良能です。65年という伝統と歴史のある大垣竹の子会の会長を仰せつかり大変光栄であると共に身が引締まる思いでございます。

入会して以来、８年間にわたり大垣竹の子会の活動を振り返りますと、非常に多くのことを経験し、学ばさせていただきました。世代という枠を越えた仲間との出会い、事業を通じて、厳しさ、優しさをいただくことにより、仲間の大切さを改めて再認識することができました。そのような貴重な経験を与えていただいた時間は私の財産です。これからも私自身さらに勉強し、成長するために精一杯努めていきたいです。

さて、近年は世界中の人々が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた年でした。外出自粛が続き、竹の子会の活動も思うようにはいかず、もどかしく感じておられる方も多かったのではないでしょうか。今期も感染症対策を継続し、できる事業の中でメンバーとのつながりを大切にして竹の子会を盛り上げたいと思います。会員減少という問題がある中ではありますが、会の必要性を感じ、活動に対し感謝の気持ちを忘れずに仲間との絆を大切にし取り組めるよう努めてまいります。

まずは、第65期今西会長のもと、残り半年の重要な事業を大成功に終え、第66期へとバトンを引き継ぎ、素晴らしいスタートとなるようしっかり準備をしてまいりたいと思います。

最後になりますが、今回会長という大役をいただきました今西会長はじめ会員の皆様に感謝するとともに、微力ではありますが、竹の子会の発展と自分自身の成長のために誠心誠意努めてまいる所存でございますので、来期も皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

副会長予定者
市川　崇史

皆さんこんにちは。第61期入会の市川崇史です。この度、第66期副会長予定者にご承認していただき誠にありがとうございます。

伝統ある大垣竹の子会の第66期副会長という大役を務めさせていただくことになり、とても光栄に感じるとともに、大きな責任とプレッシャーを重く感じております。しかし私は昔から大変な事は自己成長に繋がると思っています。このような大役を名和会長予定者は私に任命していただけた事、それほど信頼していただけていたのだと名和会長予定者を全力で支えていきたいと思い、引き受けさせていただきました。このような機会を与えてくださった名和会長予定者、会員の皆様、当会を築き上げ、これまでの長きに渡り伝統を紡いでくださったOBの皆様に大変感謝しております。ありがとうございます。

私は入会して５年目になります。当会ではたくさんの先輩方に助けていただき大変多くの事を学ばさせていただきました。私も同じように、引き受けていただいた各委員長、副委員長、委員会メンバーに寄り添い全力でサポートし第66期を盛り上げていけるよう一生懸命取り組んでまいりたいと思います。

会員の減少、コロナ禍など今まで当たり前にできた事ができない厳しい時代になりました。しかしそんな中でしか経験できない事があると思います。皆で知恵を出し合い、さらに魅力ある大垣竹の子会にしていきたいと思います。

最後になりますが、まだまだ未熟な若輩者の私ですが、名和会長予定者ならびに第66期大垣竹の子会を盛り上げていけるよう一生懸命頑張ってまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

◇◇◇

事務局長予定者
嶋　大将

皆様こんにちは。この度第66期事務局長を務めさせていただくことになりました、第61期入会の嶋大将です。

名和会長予定者からお話をいただいて即承諾させていただきました。

理由は二つあります。一つ目は名和会長予定者の人柄です。当会に対して熱く、また物事に対して納得するまで向き合う人だからです。

二つ目は私自身がやりたいからです。入会して５年経ちます。委員長、副会長と務め当初はどの役に対しても不安を抱えていました。これほどの責務をこなせるのだろうか、自分にできるのだろうかと、考えていました。ですが今は何の役が来てもやりたいばかりになっています。役をもらえない方が嫌だからです。何の役が来ても心強い諸先輩方や、協力的な会員の存在が私自身の自信に繋がっています。本当に感謝しています。

これからも引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に当会の事務局長として二つの事を一年間やり遂げるよう尽力します。

一つ目は名和会長予定者の想いを具現化する。

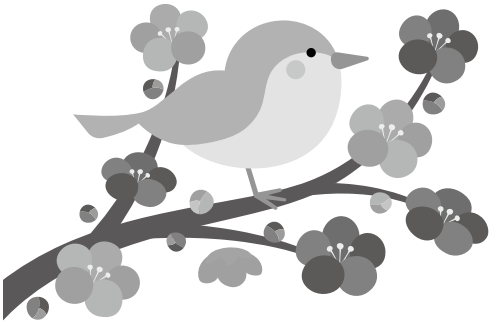
二つ目は会の円滑な運営に尽力するよう心掛けること。

以上の事をします。まだまだ当会としても社会人としても若輩者ですが、必ずやり遂げて来期へと繋がるよう尽力しますので、心からご協力、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

第50期大垣市青年のつどい協議会予定者あいさつ

第50期大垣市
青年のつどい協議会
会長予定者
蒲田　晃二

皆さんこんにちは。第61期入会の蒲田晃二です。この度、第50期大垣市青年のつどい協議会会長を務めさせていただく事となりました。私は第62期につどいの理事として出向させていただきました。当時はつどいというものが何かもわかっていない中、何もわからずに理事を受け、水門川万灯流しの部会長もやらせてもらいました。当時、竹の子２年生の私は知らないことばかりの経験をさせてもらい、やり遂げた時に自然と涙が溢れました。そこで挑戦することの良さを勉強させてもらい、人生の宝物となりました。それから２年後の64期にはつどい協議会の事務局長をやらせてもらいました。そこでは現場では知れない裏方の大変さを経験できました。そして今回、つどい協議会会長をやらせてもらえることは、もう何かの運命ではないかとも思いますし、私が経験したことを今度は若手の会員に伝える宿命だと思っております。つどいに限らず、青年活動の良さや大変さというものは、言葉で伝えるものではなく、経験して感じてもらうものだと私は思います。会長職という立場ですが、現場に寄り添ったスタイルで一緒に喜びも苦しみも共有できたらと思っております。どうか１年間よろしくお願いします。



第50期大垣市
青年のつどい協議会
副会長予定者
小島　裕則

皆様こんにちは。この度、第50期大垣市青年のつどい協議会の副会長を務めさせていただきます第60期入会の小島裕則です。蒲田つどい会長予定者にお誘いいただき担当させていただくことを決意しました。

つどいの活動は一度、渉外副委員長という立場で十万石祭りの子供神輿を担当させていただきました。その時は、自分自身何をしなければいけないのかもわかりませんでしたが、先輩方、他団体の方のご指導、ご協力があって初めて成し遂げることのできるものだと痛感しました。

水門川万灯流しでは終盤の方に流されたお子さんが「作ったのを持って帰りたい。」の一言で、あの子が喜ぶのならと水門川に流した万灯を取りに走ったり、十万石祭りでは子供神輿を担ぐ子供たちが、どうすればスムーズかつ安全に楽しんで担ぎ帰ってもらえるかをつどいメンバーと共に考え、良い事業にできたことを今でも思い出します。その経験を50期に生かせればと思います。

まだまだ勉強不足な私ではあります。至らないところが多々あると思いますが、担当させていただく職務を新たな仲間と共に果たしたいと思います。

また、お誘いいただいた蒲田つどい会長予定者を盛大に盛り上げていきたいので、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

◇◇◇